

朝里川温泉モニターツアー報告

(2024年 1月22日(月)・23日(火))

今回で2回目となるモニターツアー。スペインから1名、チリから1名、スウェーデンより1名、オランダより1名、オーストラリアより2名、中国より1名の皆さんが参加してくれました。暖冬が続き、本来の北海道らしい冬とは少し違いますが、北海道の冬を満喫していただくツアーをご用意いたしました。

まずは、小樽駅から車で15分ほどの朝里川温泉「おたる宏楽園」

(<https://www.otaru-kourakuen.com/>) に集合。お茶のおもてなしを楽しんでいただきます。

宏楽園ホテルにはロビーのすぐ横に茶室があり、本格的なお茶をいただくことができます。

日本人でも体験した人は少ないであろうお茶体験。厳かな雰囲気の中、ひとつひとつの所作に集中して見学します。

お茶いただく作法を一つずつ確認しながら、皆さんお茶をいただき、口に広がる抹茶の余韻を楽しんでいました。

次に一人ひとり自分達でお茶を点てて飲んでみます。先生が点てたお茶と、自分が点てたお茶。全員一致で「先生が点てたお茶の方が美味しい」と驚きの表情。驚きの発見だったようです。



皆さんにお茶を楽しんでいただいた後は、おたる宏楽園の館内をご案内。畳敷きの通路や、着物や屏風の展示、遊び心のある写真など、随所に旅館の心意気を感じられるおもてなしに皆さん大興奮。雪景色の中入る露天風呂には興味津々で、自由に撮影していたところに、嬉しい発見が…！それは脱衣所にあった「無料アイスキャンディー」。

「これは無料なの？いっぱい食べてもいいの？」

「早く食べたい！」

と、早くも温泉に入る楽しみの一つが出来たようでした。

館内の見学後はアクティビティ。少し移動してウインケルビレッジ

(<http://www.winkel.co.jp/family>) へ。ここではスノーキャンドルを作ったり、テントサウナを楽しんでいただきます。

参加された皆さんは、「雪は全く初めて」という方ではないものの、アイスクャンドル作りは初めてという方ばかり。思うように固まらなかったり、崩れてしまったり。しかし、朝里川温泉組合の皆さんの助けでもあって、それぞれ作りたいスノーキャンドルを作ることができました。さあ、1日目のメインイベント。テントサウナの時間です！水着に着替えた方から、いざテントサウナへ！



5分、10分、15分と経過し、体から湯気を出しながら出てきたと思ったら、そのまま雪の中へダイブ！「フォーー！気持ちいー！」と雪で顔を洗い、手足に摺り込んで、またテントサウナへ。



サウナ文化が根付いているスウェーデンの方は「こんなのスウェーデンでも体験したことない。すごくいいね！」と喜んでいただけただけようです。

その後はパンやスープ、クッキーなどの軽食（提供：Hi Bread！ -ハイ・ブレット -<https://pain502.base.ec/>）を食べながら日が落ちるのを待ち、先ほど作ったアイスクャンドルが創り出す幻想的な雪灯りを見学して、1日目は終了となりました。



2日目の朝。見事に晴れてスキー日和！朝里川温泉スキー場（<https://asari-ski.com/>）でスキーやスノーボードを楽しみます。今回の参加者は皆さんインストラクター級に上手な面々ばかり。その中で1名、「いつもはスキーだけど、スノーボードに挑戦してみたい」という方が。



中国出身の方なので、インストラクターは台湾の方をお願いし、中国語と英語を交えながらレッスンが始まりました。

スキーと違ってバランスを取るのが難しいスノーボード。しかし、そこはインストラクターの腕の見せ所！初めは「少し登って滑る」を繰り返していましたが、1時間もした頃、リフトに乗って降りてくる姿が。「楽しんでますか？」と聞くと、「すごく楽しい！インストラクターが台湾の方なので、言葉のニュアンスがとてもわかりやすいです。また絶対来ます！」とまたリフトに乗っていきました。

一方、インストラクター級の皆さんは、上級者コースを攻めています。「自分達の国にもスキー場はあるけど、こんなにたくさんの雪が降ることはない。人工雪の時もあるくらい。今年は雪が少ないと言われているみたいだけど、全然大丈夫！すごく楽しい！」と、時間の許す限りスキーやスノーボードを楽しんでいました。



2日目の昼で今回のモニターツアーは終了です。最後にツアーを振り返ってもらいました。

「同じお抹茶を使っているのに、先生が点てたお茶と自分で点てたお茶では、味が違いすぎてびっくり！この貴重な体験は5点満点中5点です！」

「スノーキャンドルなど、地元の人たちのイベントに参加できて嬉しかった。家庭的なあたたかいおもてなしが嬉しかったです」

「私たちが想像していた『日本らしさ』がたくさん盛り込まれたツアーで嬉しかったです。中でもお茶体験は思い出に残るものとなりました」

と、皆さん『日本の文化体験』が印象に残っているようでした。言葉の壁がありながらも、気配りやおもてなしの気持ちは十分に伝わったモニターツアーになったと思います。